

横浜銀行は農業と第2次、第3次産業を融合する6次産業化への取り組みとして、ビジネスマッチングなどを通じて、茅ヶ崎市内の農家によるトマトジュースの開発を支援した。

紹介。補助金受給の資格を得ることができる事業計画の作成についてもアドバイスした。トマトジュースは同農園の直売所で販売され、180ミリリットル入りで350円(税込み)。

## トマトジュース開発支援

6次産業化へ  
横浜銀行が協力

新商品を開発したのはトマト農家「野崎農園」。トマトジュース作りを計画し、独自に加工業者を探したが見つからず、相談を受けた横浜銀が加工工場として平塚市内の社会福祉法人「進和学園」を

横浜銀はこれまで6次産業化への協力として、県産ブランド牛「ちがさき牛」の輸出や「やまゆり牛」を使った「よこすか海軍カレー」の開発を支援してきた。横浜銀は「地域に根差した情報ネットワーク

横浜銀行が開発を支援した野崎農園のトマトジュース(横浜銀行提供)



クを活用して成長産業である農業を支援し、地域経済の活性化に取り組む」としている。

(田中 大樹)